

第1回 愛知県豚コレラ緊急対策会議

会議次第

日時：平成31年2月5日（火）

午後5時から

場所：本庁舎3階 特別会議室

1 議長あいさつ（愛知県知事）

2 議 題

（1）豊田市における豚コレラを疑う事例の発生について

（2）防疫方針について

（3）その他

第1回 愛知県豚コレラ緊急対策会議
構成員名簿 (H30年度版)

| 職名 | 氏名 | 備考 |
|-----------------|------|-----|
| 知事 | 大村秀章 | 議長 |
| 副知事 | 森岡仙太 | 副議長 |
| 副知事 | 石原君雄 | 副議長 |
| 副知事 | 宮本悦子 | 副議長 |
| 副知事 | 加藤慎也 | 副議長 |
| 政策企画局長 | 横井篤史 | |
| 総務部長 | 長谷川洋 | |
| 総務部人事局長 | 齋木博行 | |
| 振興部長 | 野村知宏 | |
| 県民文化部長 | 鳥居保博 | |
| 防災局長 | 相津晴洋 | |
| 環境部長 | 森田利洋 | |
| 健康福祉部長 | 平田雅也 | |
| 健康福祉部 保健医療局長 | 松本一年 | |
| 産業労働部長 | 伊藤浩行 | |
| 建設部長 | 河野修平 | |
| 会計管理者兼 会計局長 | 田中正剛 | |
| 教育委員会教育長 | 平松直巳 | |
| 警察本部長 | 加藤達也 | |
| 農林水産部長 | 高橋智保 | |
| 農林水産部 農林基盤局長 | 勝又久幸 | |
| 農林水産部次長 | 澤田陽一 | |

豊田市における豚コレラを疑う事例の発生

| | |
|---------|---|
| 2月4日 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 農場から中央家畜保健衛生所に飼育する豚（母豚）に食欲不振・流産等の症状が見られる旨通報あり ・ 中央家畜保健衛生所が農場に立入し、症状を呈した豚の血液（6頭）を採取 ・ 豚のウイルス性感染症を疑い検査を開始 |
| 2月5日 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 豚コレラPCR検査陽性（6頭中5頭）、疑い事例発生 ・ 国へ検査材料の送付 |
| 2月6日 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 農林水産省の検査・判定、患畜決定見込 |
| 既に講じた措置 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 出入り口の制限、消毒 ・ すべての豚について、当該農場からの移動を自粛 ・ 農場の出入り口を1か所にし、関係者以外の者の立入を禁止 ・ 農場外へ物品を搬出禁止 |

防疫方針

| | 2月6日 | 7日 | 8日 | 9日 | 10日 | 11日 | 12日 | 13日 | 14日 | 3月12日 |
|------|-------|-----|----|----|-----|----------------------|-------------|-----|-----|-------|
| 発生農場 | PCR検査 | 殺処分 | | | 埋却 | 汚染物品処理・消毒 | 防疫措置完了 | | | 終 |
| 周辺農場 | | | | | | 消毒ポイント 移動制限区域 (3km) | 防疫措置完了後28日間 | | | 息 |
| | | | | | | 消毒ポイント 搬出制限区域 (10km) | 防疫措置完了後17日間 | | | |

農場の飼養状況

所在地: 豊田市

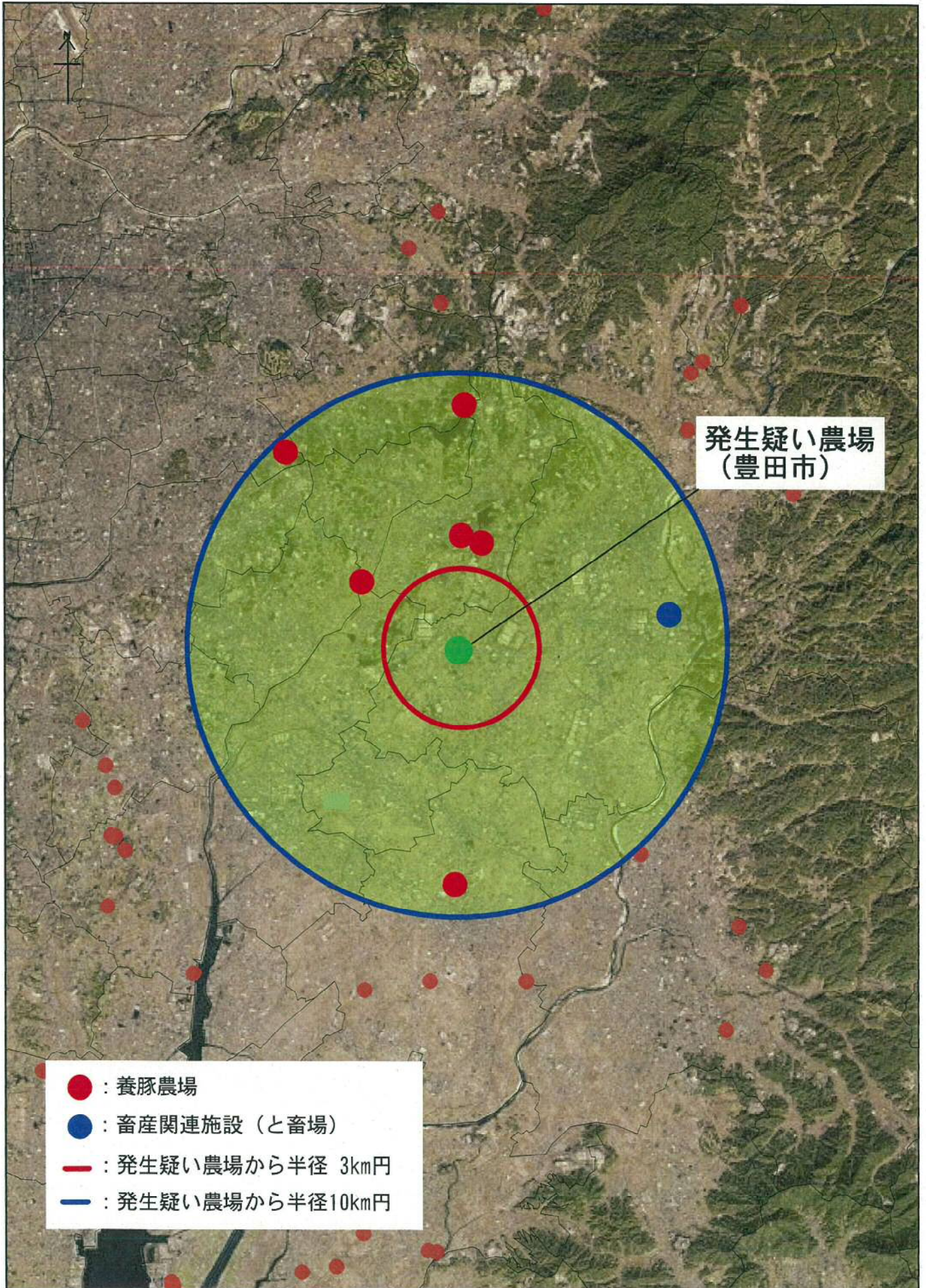
飼養頭数: 6,630頭(繁殖豚1,030頭、肥育豚5,500頭)

関連農場

所在地: 田原市

飼養頭数: 肥育豚1,000頭

発生疑い農場周辺農場等



豚コレラについて

1 原因（病原体）

豚コレラウイルス（フラビウイルス科ペスチウイルス属）

2 感受性動物

豚、いのしし

3 症状

発熱、元気消失、食欲減退、便秘、下痢、結膜炎、歩行困難等を示す。強い感染力と高い致死率を特徴とする。

4 発生状況

(1) 国内では明治21年、北海道にて国内初発生（発生頭数不明）

その後、全国で断続的に発生直近では、平成4年、熊本県にて発生（5頭）、平成30年9月以降、岐阜県の養豚農家（8農場）等で発生、野生イノシシ（岐阜県及び愛知県）からも豚コレラ検出。

(2) 海外近年では、アジアを中心に広く発生がみられる。

5 人体への影響

豚コレラは、豚、イノシシの病気であり、人に感染することはない。

また、感染豚の肉を摂取しても人体に影響はない。